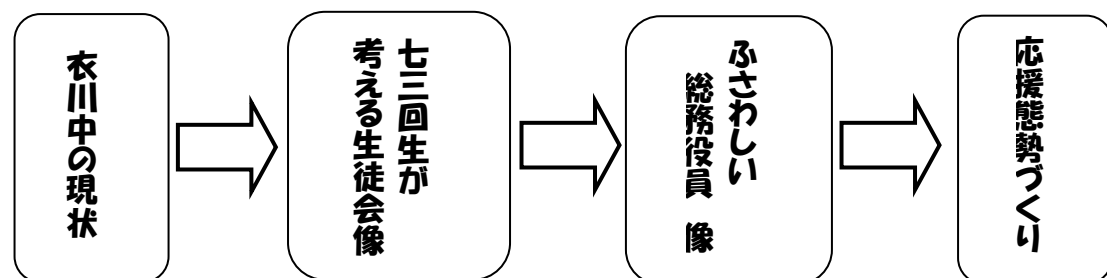




生徒会総務役員選挙にむけて 本日6校時より

中学校に入学以来、様々な場面で“生徒会”の活動を見てきました。今までは生徒会の一員でありながらも、どちらかと言えば上級生にリードされながらの活動がほとんどでした。これからは、73回生が上級生としてリードする立場です。

『誰が前に立つ人になるか』はまだ分かりませんが、みんなで『衣川中学校の生徒会』の“像”を考えて、同じ方向をむいて選挙にむかってほしいものです。



・保護者の皆様へ・

平成30年度 学年費納入について

今月15日（月）が、最終の引き落とし日となっています。

今年度の学年費は、5月の『お知らせ』の通り、6月、7月、9月、10月の4回に分けて引き落としをさせていただいています。

よろしく願いいたします。

翁長さんの魂継ぐ 沖縄知事当選の玉城さん 未来のため「体張る」

県知事選開票結果 (選管最終)		
当 玉城 デニー	無所属・新	396,632票
佐喜真 淳	無所属・新	316,458票
兼島 俊	無所属・新	3,638票
渡口 初美	無所属・新	3,482票



初当選を果たし、支持者とカチャーシーを舞う玉城デニー氏

*カチャーシー … テンポの速い沖縄民謡の演奏に合わせて踊られる、両手を頭上に挙げ、手首を回しながら左右に振る踊り。多くは演奏会や宴席のクライマックスとして踊られる。沖縄方言のなまりで「かき回し」という意味であり、頭上で手を左右に振るさまが、かき回すように見えるため呼び名がついた。

米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市の辺野古新基地建設を拒む県民の意思が明確に示された。玉城さんは涙を浮かべ「新基地建設を止めることが未来の子どもたちにできる、私たち責任世代の行動だ」と呼び掛け、「翁長知事の遺志を継いで私も体を張って主張する」と魂の継承を力強く誓った。

辺野古新基地建設阻止を掲げ当選を果たした玉城さん。午後9時半すぎ、当選確実が報じられると、那覇市古島の教育福祉会館に集まった支持者から、悲鳴のような歓声と割れんばかりの拍手が湧き起こった。「これ以上の辺野古新基地建設は認めない。『道理』を止めてはいけない。崩れても、折れてもいけない」と決意を新たにしました。

伊江島出身の母と米海兵隊員の父との間に旧与那城村で生まれました。母子家庭で育ったことや産みの母と育ての母の2人の母がいることなど、自身の出自も語りながら「一人も取り残さない社会をつくる」と訴え、沖縄中を駆け巡った。

【琉球新報 10月1日】